

国際中高大学連携における SDGs 化学セミナー2023 (SDGs Seminar 2023 Winter)

植原 邦佳

グローバル D&I 推進室 技術職員

2023年12月22日、25日に岡山大学工学部主催で行われた「国際中高大学連携におけるSDGs化学セミナー2023(SDGs Seminar 2023 Winter)」に、昨年に引き続き、接合科学研究所グローバルD&I推進室が協力しました。本セミナーは、“自然化学”に関するSDGsを体系的に学ぶことを目的に岡山大学工学部が開催するセミナーで、国内外の中学生・高校生・大学生・大学院生・大学教職員・一般市民を対象としています。今回は、岡山大学、大阪大学の他に日本山村硝子株式会社、長岡技術科学大学、中国科学院、浙江工業大学、マレーシア・INTEC教育大学、Sekolah Menengah Sains Teluk Intan (SEMESTI)と連携することで実現しました。

セミナーの1日目は日本人サイエンスコミュニケーターの講演の後、マレーシア人学生と日本人大学生・高校生がオンラインで一緒にUVレジンを用いたアクセサリー作りの実験が行われ、接合科学研究所から植原邦佳技術職員が現地講師として参加しました。実験には硝子カレット・マイクロプラスチックが使用され、モノづくりの体験を通してUVレジンの硬化原理や硝子に関する環境への取り組み、そして、マイクロプ

ラスチックについての学びを深めました。実験の前後には、マレーシアのSEMESTI(中高一貫校)とINTEC教育大学の学生からの学校紹介やマレーシア文化の紹介、マレーシア人教員の岡山大学への留学経験談を含む講演があり、参加した学生たちは、サイエンスを通じて世界と繋がることを体感しました。

2日目には中国科学院のLiu Xingzhu博士、岡山大学教員などの講演や岡山県内を中心とした中高生に向けた工学部と農学部の研究室見学が行われました。

本セミナーは、日本、中国、マレーシアの大学生らが共に学んで創造力を養うことができる他に類をみない取り組みです。将来を担う若い世代が「学びの力」でつながることで、日本と海外との友好関係の強化や科学技術イノベーションを生み出す人材の養成、継続的国際交流の促進が期待されます。さらに、本セミナーの運営は、岡山大学の技術職員はじめ半数以上を女性が占めており、ダイバーシティの面においても一石を投じるセミナーになったと考えています。グローバルD&I推進室は、今後もこのようなイベントを通して女性の活躍や国際的な視野をもつ次世代人材育成を目指して協力体制を構築していきたいと思えます。



講演の様子



UVレジンを用いた実験の様子

